

地域おこし協力隊 たむら わたる 田村 渉の ツキイチ活動日誌 ～ Vol.9～

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。1カ月に1度(=ツキイチ)、日頃の活動の様子を皆さんにお伝えします。



3月28～29日の2日間、休日をいただきまして、叔父(島田市在住)とともに八ヶ岳(赤岳)へ登ってきました。叔父は71歳でありながら筋肉年齢は40代で、一緒に歩いていても私より元気です。私も叔父のように長く山を歩けるよう日々のトレーニングをしていきたいと思った山行でした。



「春・里山はく」削り馬出展

3月に実施された「春・里山はく」では、寸又峡や接岨峡の自然の中で、心ゆくまで木を削っていただきたいと思い、削り馬を使ったスプーン作りを出展しました。計6日間でできたオリジナルスプーンは78本。アプト開通イベントでお越しいただいた朝倉さやさんにもご体験いただいたり、南アルプス山岳図書館の遠藤さんや資料館やまびこの鈴木さんにもサポートしていただき、大変良いイベントにすることができました。フォークや箸作りなどメニューを増やして、さまざまなイベントに出展したいと思っています。

「桑野山貯木場」製材機導入

桑野山貯木場に簡易製材機とフォークリフトが導入されました。川根本町には、夢の吊り橋や奥大井湖上駅といった若者に人気のあるスポットがありますが、若者向けのおみやげ品は少ないと感じています。そこで、町内で伐採した木を使ったおみやげ品の製作は、一考の余地があると思います。その他にも、薪やペレット・ウッドチップにして、ストーブやボイラー・発電、散策路整備に利用することが考えられます。いずれも簡単なことではないと思いますが、この簡易製材機が循環サイクル構築のきっかけになればと考えています。



森林の講演会

2月24日と3月17日に、静岡市内にて開催された森林の講演会に行ってきました。講師陣は、山岳トレイルラン第一人者の望月将悟さん、元東海フォレスト社長の内海登さん、哲学者の内山節さん、元林野庁の田中正則さんという豪華な顔ぶれでした。中でも、内山さんによる、群馬県上野村で「半市場経済」の理想のもとで行われている木質ペレット生産や森林の観光資源化などの事業の話が大変興味深く、川根本町でも取り入れていきたい内容でした。ブログに詳細を書いていますので、ご参照いただくと幸いです。

3月より、週に1日、三ツ星天文台のスタッフとして活動することになりました。著名な星座と一等星程度しかわかりませんが、星を眺めることが好きですので、いろいろ勉強していきたいと思っています。毎週金・土・日と予約が入った平日に活動していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

たむら・わたる / 焼津市出身。首都圏の地図製作会社にて地図や観光情報データベースの開発業務などを担当。その後、北海道にて自然体験プログラムやエコツアー、環境保全活動などの企画・運用の研修を経験。趣味は登山・スキー・旅行・将棋・麻雀。

ブログも更新中!

川根本町地域おこし協力隊

検索

